

14日 水曜

出エジプト



39:1 彼らは、青色、紫色、緋色の撚り糸で、聖所で仕えるための式服を作った。また、主がモーセに命じられたとおりに、アロンの聖なる装束を作った。

39:2 彼はまた、金色、青色、紫色、緋色の撚り糸と、撚り糸で織った亜麻布で、エポデを作った。

39:3 彼らは金の板を打ち延ばし、巧みなわざで青色、紫色、緋色の撚り糸に撚り込み、亜麻布に織り込むために、これを切って糸とした。

39:4 彼らは、エポデにつける肩当てを作った。それぞれ、エポデの両端につけられた。

39:5 エポデの上で結ぶあや織りの帯は、エポデと同じ材料で、主がモーセに命じられたとおり、金色、青色、紫色、緋色の撚り糸、撚り糸で織った亜麻布で、エポデと同様に作った。

39:6 彼らは、しまめのうを、金のわくにはめ込み、これに印を彫るようにして、イスラエルの子らの名を彫った。

39:7 彼らはそれをエポデの肩当てにつけ、主がモーセに命じられたとおりに、イスラエルの子らの記念の石とした。

39:8 彼はまた、胸当てを巧みな細工で、エポデの細工と同じように、金色や青色、紫色、緋色の撚り糸、撚り糸で織った亜麻布で作った。

39:9 四角形で二重にし、その胸当てを作った。長さ一あたり、幅一あたりで、二重であった。

39:10 それに、四列の宝石をはめ込んだ。第一列は赤めのう、トパーズ、エメラルド。

39:11 第二列はトルコ玉、サファイヤ、ダイ

ヤモンド。

39:12 第三列はヒヤシンス石、めのう、紫水晶。

39:13 第四列は緑柱石、しまめのう、碧玉。これらを金のわくに入れてはめ込んだ。

39:14 これらの宝石は、イスラエルの子らの名によるもので、彼らの名にしたがい、十二個で、十二の部族のために印の彫り物が、一つの名につき一つずつあった。

39:15 ついで、編んで撚った純金の鎖を、胸当ての上に作った。

39:16 彼らは金のわく二個と金の環を二個作り、二個の環を胸当ての両端につけた。

39:17 そして彼らは、二筋の金のひもを胸当ての両端の二個の環につけた。

39:18 その二筋のひもの他の端を、先の二つのわくにつけ、エポデの肩当てに外側に向くようにつけた。

39:19 ほかに、二個の金の環を作り、これを胸当ての両端、すなわち、エポデの前に来る胸当ての内側の縁につけた。

39:20 ほかに、二個の金の環を作り、エポデの二つの肩当ての下端の外側に、すなわち、エポデのあや織りの帯の上部の継ぎ目に接した面の上につけた。

39:21 胸当ては青ひもで、その環のところをエポデの環に結びつけ、エポデのあや織りの帯の上にあるようにし、胸当てがエポデからずり落ちないようにした。主がモーセに命じられたとおりである。

祭司は「とりなし」という特別な働きをする聖なるものです。ですから罪ある人間がそのままできるものではなく、主の愛と義を身に着ける必要があり、それがこの装束です。またイスラエル

を記念するために、しまめのうの肩当てと宝石の胸当てとを身につけました。イスラエルへの慈しみの表れです。

私たちは新約の祭司です。すなわち、神様と神様から離れた人たちとの間にあって、とりなし宣教するものです。

自分自身の働きを自覚して、主の御心がよく表れるように行動しましょう。救われていない人と神とのとりなし手となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

